

共創による乗合バス事業の共同運営システム構築に向けた取組(広島県広島市)

交通×交通

事業実施主体

【共創プラットフォーム】“広島型”協調・共創プラットフォーム
 【実施主体】広島市、広島電鉄(株)、広島バス(株)、広島交通(株)、
 芸陽バス(株)、備北交通(株)、中国ジェイアールバス(株)、
 エイチ・ディー西広島(株)、(株)フォーブル、
 公益社団法人広島県バス協会

地域課題

広島市に乗り入れる乗合バス事業者は11社にもおぼり、これまで各社は成長トレンドの中で利益を上げてきたが、採算性や競争原理を優先して事業展開してきたこと、官民の連携が十分でなかったことから、事業者の枠を超えた取組は一部に留まっていた。こうした中、人口減少やモータリゼーションの進展に加え、コロナ禍による大幅な輸送需要の減少などに直面し、各社の経営努力のみでの事業存続は極めて困難な状況となっている。

このため、官民一体で「競争」から「協調」へと舵を切り、持続可能で利便性の高い乗合バス事業へと再構築するための新たな連携体制(共同運営システム)を構築する。

実証事業の内容

連携体制を構築する上では、客観的データにより事業者間の公平性を担保し、納得感を高めながら各種施策を展開していくことが重要であるため、現在、関係者が個々に保有している各種データを共有・分析し、関係者が一体となって利便性向上や運行効率化に資する実証運行の企画、立案、運行及び結果の評価を行う。

今後の展開

本プロジェクトを通じてデータ分析を軸とした利用促進・運行効率化等の企画・立案を行う仕組みを構築し、来年度からの稼働を予定する共同運営システムにおいて継続して各種施策を展開。

事業実施区域



事業体制

